

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 2 月 25 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団紺整会	フェルマータ船橋	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	シルエット見守りセンサ	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 1 月 29 日	3 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>常に転倒・転落リスクのある認知症専門棟の利用者 5～6 名に導入している 設置方法も簡易なため、必要優先度が高い方にはベッドを移動せずセンサの移動のみ で設置ができる。今回導入した 3 台と既存にあった 3 台の 6 台フル活用している状況 である。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用 状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>不要な訪室がなくなり、転倒予防にも役立っている 一番は、夜勤職員（看護師、介護士）の業務負担軽減に役立っており、 利用者の監視されている感もないため、負担軽減に役立っている</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>Wifi 環境を構築しなくてはいけないので、そこは使い勝手としては不便さあり また監視端末として、タブレットを準備しなくてはいけないので費用がかかる センサとしての機能としての不都合は特になし</p>		